22年度事業 事後評価

				(<u> 兼) </u>	(貝科) 夫加	<u> 11 </u>	IF	成日 H 24		10	日作成
				从国人登録	答理. 妇妙重兴		所属部局		市民部	単位番号		4064
事務事業名		外国人登録管理·相談事業					所属課室	窓口	コサービス課	課長名	望	月 常美
						実施計画事業	所属担当	市	民窓口担当	担当者名	Щ	本 公一
	# # Tb ***	₩		は立てくのから	· + > +0 + - × / 10		-7 MM 1 N I I	会計	名称	款 項 目	3 8	細目 細々目
基本政策		基 快適で心のかよいあう都市づくり 本					予算科目	01	一般 0	2 0 3 0	1 0	1 2 0 4
	政策 計画 21 快適生活環境の			 整備		Access to	の制度による義	務的事業 📙	施設等	維持管理事業		
施策 体 34 窓口サービスの向 事業期間 ▼単年度のみ ▼ 単年度繰返			 句上	・事業区分	□ 県の制度による義務的事業 □ 補助金交付事業 □ 市の制度による義務的事業 □ その他の事業 □ 赤務化されている協議会等の負担全							
			- (法令根拠	■ 義務化されている協議会等の負担金外国人登録法、同施行令、同施行規則						
期間限定複数年段					~ 年度)		事業書の土					
				F度事業は次年度り C在留外国人の居住関			事業費の主) 百日 / 6 m 含	<u></u>	◇ 婦/イ田)
務別	「国人豆球には11年」 11、国籍、在留資格、	在留期	山王) 0/ 間等)を排	で握するとともに、その	情報は在留外国人が	石、エサカロ、ほ 受ける各種行政サー	項目(細	\$ J)	金額(千円)		(II)	金額(千円)
# F	ごス(課税、国保、印	鑑登録、	就学等)	の基礎情報として使用	されています。		その他賃金	•••••	461			
	入国(出生)した外国	国人は申	がき、登録原票及び登録	録証明書の作成を行う	普通旅費		17					
			青を行わせ、前居住市 手度より予算を住民基本		月杙山冥							
要	*料山士統でか必安	:/A.V.(,) -	↑ 70%, 2 3 ±	+反より7/昇で住氏基準	4口版目注事物に修り	9.				計		401
1	現状把握(D	O)							<u>:</u>	<u> </u>		485
	事務事業の目的 5動	」と指標	Ę				活	動指標	(事務事業の活	動量を表す指	標)数字	は記入しない
	年度活動実績	新規登録	禄、登録	証明書交付事務、変更	登録申請事務、記載	事項証明発行事務] <u> </u>		名称			単位
22-	十及/1到大浪	<u> </u>					ア		证明書交付件数	数		件
231	年度活動予定	新規登録	禄、登録	証明書交付事務、変更	夏登録申請事務、記載	事項証明発行事務	1 1	各種甲	申請受理件数			件
		- 312				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	ウ	登録原	票記載事項証	明書発行件数		<u>件</u>
X	寸象(この事務員	業は	誰、何を	を対象にしているの	りか) * 人や目然	資源等	対	家指標	原(対象の大きさ	を表す指標)数	字は記ん	入しない
							. <u></u>	2119911	名称 人登録者数			単位
南ア	ルプス市に居住し	ている	外国人				<u> </u>	外国ノ	人登録者数			<u>_</u>
							<u> 1</u> ;					
	と図 / この声 27 声	441- LI	1144	じのとこれ小能にし	TILL ON LOOK	こに本ころのか)	ウ	## #P ##	T. 1. 2 - 1. 1. 2 - 2			
<u>.</u>	息凶(この事務事	美により)対象を	どのような状態にし	、ていくのか、とのよ	つに发えるのか)	DX.	未拍仿	票(対象における意 名称	図の達成度を表す	5指標)数	女子は記入しなし
外国	人の居住関係や	身分事」	項(氏名	、生年月日、性別、	国籍、在留資格、福	在留期間等)明ら		ᅂᄞ	五小 登録数			<u> </u>
かに	し、外国人本人が			こ基づき外国人登録			//			KH-		1+ /#
の状	態にしていく。							左径1	也変更登録件数 变更登録件数	X		1+ 14
—	-位日的(どの)	トンかは	田口尓	さび付けるのか)			<u>ウ</u>		を史豆球件数 指標(結果の道	まは安を主えや	抽、粉字]† ?!+≐⊒ λ <i>+</i> >!
ļ								业 ル本	名称	Eル反で化 9.1日	1示) 女人士	単位
		身分事」	項の公正	Eな管理。(各種行i	敗サービスの基礎情	青報としての役割		訂正由	ロカリング ロカラ	呈登録したもの)		<u></u> 件
	たす。)						l 1i					<u></u> 件
を果る	() (1	訂止用	ウ件数 (他市で記	吴登録したもの)		14
を果る							1	訂止甲	立件数(他市で記	吴登録したもの)		14
		A-16	ш /-	21年度	22年度	23年度	24年度	訂止甲	ロウロ (他市で記 25年度	^{吴登録したもの)} 26年度	最終	
	事業費・指標の	性移	単位	21年度 (決算·実績)	22年度 (決算·実績)	23年度 (予算·目標)	24年度 (次年度計画·E		·	• !	最終 (ト-	
(2)	事業費·指標の3	出金	単位千円						25年度	26年度		終 年度
(2) 事	事業費·指標の3	出金	千円 千円	(決算·実績)	(決算·実績)	(予算·目標)		標)	25年度	26年度		終 年度
(2) 事	事業費・指標の 財 …国庫支 財 …県支出 源 …・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	出金	千円 千円 千円	(決算·実績)	(決算·実績)	(予算·目標)		標)	25年度	26年度		終 年度
(2) 事 目	事業費・指標の語 財 国庫支 財 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	出金 1金 債 他	千円 千円 千円 千円	(決算·実績)	(決算·実績)	(予算·目標)		標)	25年度	26年度		終 年度
(2) 事 目 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計 計	事業費・指標の対 財 … 国庫支 財 源 … ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	出金 1金 債 他 才源	千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 113 113 182	(決算·実績) 41 41 444	(予算·目標) 83 560	(次年度計画・目	9 34	25年度 (計画·目標)	26年度	(+-	冬 年度
(2) 事 目 1 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日	事業費・指標の 財 … 国庫支 財源 の ・ 選集 ・ 選集 ・ 第一般 ・ 事業費計	出金 金 債 他 才源 (A)	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 113 182 295	(決算·実績) 41. 444 485	(予算·目標) 83 83 560 643	(次年度計画・目	9 34 43	25年度	26年度		終 年度
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の語 財源の事業 調源内部の一般 事業費計 工規職員従	出金 1金 債 他 が源 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 113 182 295 2	(決算·実績) 41. 444 444 485 2	(予算·目標) 83 560 643 2	(次年度計画·E	標) 9 34 43 2	25年度 (計画·目標)	26年度	(+-	冬 年度
(2) 年間トータルコス	事業費・指標の記事 財源の開東支出 事業費の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	出金 計金 債 他 が源 (A) 事人数 詩間	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 113 182 295 2,288	(決算·実績) 41. 44. 444 485 2 2,288	(予算·目標) 83 560 643 2 3,120	(次年度計画·目 6 6 3,7	9 9 34 43 2	25年度 (計画・目標)	26年度	0	終 年度 - タルコスト· 目標 0
(2) 年間トータルコ	事業費・指標の記事 財源内 調菓・選売を 財源内 一般 事業職業 工規 選 発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	出金 計金 債 他 が源 (A) 事人数 詩間	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 113 182 295 2,288 10,207	(決算·実績) 41 444 485 2 2,288 10,207	(予算·目標) 83 560 643 2 3,120 12,361	(次年度計画·目 6 6 3,7 14,8	9 34 43 2 44 34	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコス	事業費・指標の記事 財源の開東支出 事業費の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	出金 1金 債 他 打源 (A) 事人数 事間 (B)	千円 千円 千円 千円 千 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004	(次年度計画·目 6 6 6 3,7 14,8 15,4	9 34 43 2 44 34 77	25年度 (計画・目標)	26年度	0	終 年度 - タルコスト· 目標 0
(2) 年間トータルコス	事業費・指標の記事 財源の記事業費員従 事業費員従 ・	出金 1億 他 打源 (A) 事人間 (B)	千円 千円 千円 千円 千 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004	(次年度計画·目 6 6 3,7 14,8 15,4	9 34 43 2 44 34 77 5.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコス	事業費・指標の記事 財源内 調菓・選売を 財源内 一般 事業職業 工規 選 発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	出金 計金 (人) (A) (A) (A) (B) (B)	千千千千八時千千件 件件	(決算·実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0	(次年度計画 E 6 6 6 14,8 15,4 7 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	77 5.0 0.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコス	事業費・指標の記事 財源の記事業費員従 事業費員従 ・	出金 計像 (A) 事 も間 (B) アイウ	千円 千円 千円 千円 千 千 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	(決算·実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 2,17.0 1,409.0 1,050.0	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,100.0	(次年度計画·E	34 43 2 44 34 77 5.0 0.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	終 年度 -タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコス	事業費·指標の記事業別別。	出金 (債 (M) (A) (A) (A) (B) (B) アイウア	千千千千八時千千件 件件	(決算·実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0	(次年度計画 E 6 6 6 14,8 15,4 7 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	34 43 2 44 34 77 5.0 0.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	終 年度 -タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコス	事業費・指標の記事 財源の記事業費員従 事業費員従 ・	出金 (債 (M) (A) (A) (A) (B) (B) アイウア	千千千千八時千千件 件件	(決算·実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 2,17.0 1,409.0 1,050.0	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,100.0	(次年度計画·E	34 43 2 44 34 77 5.0 0.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコス	事業費·指標の記事業別別。	出金 (他 源 (A) (A) (A) (B) アイウアイク	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(決算·実績)	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0	(予算·目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,100.0	(次年度計画·目 66 6 3,7 14,8 15,4 7 50 37	34 43 2 44 37 77 5.0 0.0 7.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコス	事業費・指標の記事業 財源 内訳 事業職ででででいます。 一般計 大・一般計 大・一般計 大・一般計 大・一般計 大・一般計 (A) + (B) 活動指標 対象指標	出金 (債 (M) (A) (A) (A) (B) (B) アイウア	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(決算·実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,277.0	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0	(次年度計画·目 66 6 3,7 14,8 15,4 7 50 37	34 43 2 44 37 77 5.0 0.0 7.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコス	事業費·指標の記事業別別。	出金 (他) 源(A) (A) (B) アイウアイウアイ	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(決算·実績)	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0 70.0 350.0	(次年度計画·目 66 6 6 3,7 14,8 15,4 7 50 37 1,15	34 43 2 44 34 77 5.0 0.0 7.0 0.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコスト	事業費・指標の記事業職 財源内訳 事実職で一般計 正正延び件 大田 東東職で件 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大	出金 (他) (A) (A) (B) アイウアイウ	一	(決算·実績)	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0	(次年度計画·目 66 66 3,7 14,8 15,4 7 50 37 1,15	9 34 43 2 44 34 77 5.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコスト	事業費・指標の記事業費・指標の記事 実際 実際 実際 実際 大学 の説 事 実際 大学 大学 (A) + (B) 活動指標 対象指標 人 (B) 大学	出金 (M) (A) (B) (A) (B) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P) (P	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(決算·実績)	(決算·実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0	(予算・目標) 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0	(次年度計画·目 66 66 3,7 14,8 15,4 7 50 37 1,15	34 43 2 44 34 77 5.0 0.0 7.0 0.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコスト (3)こ	事業費・指標の記事業費 対源内訳 事規職で、一般計 (A) + (B) 活動指標 対象指標 位成 果 指標 上 位 事務を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	出金 (M) (A) (B) (B) (P) イウアイウアイ (D) アイ (D)	一	(決算·実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,2277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者·社会状況	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0	(予算·目標) 83 85 85 860 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0	(次年度計画·目 66 66 14,8 15,4 77 50 37 1,15 2 9 25	9 34 43 2 44 34 77 5.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコスト (3) こここ	事業費・指標のの支流のの表質を表現している。 「国県地でのでででである。 「国県地でのででである。 「国県地でのででである。 「一世ののでである。 「大き」では、一世のは、一世のでは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世の	出金 (M) (A) (B) (B) (P) イウアイウアイ (D) アイ (D)	一	(決算·実績)	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0	(予算·目標) 83 85 85 860 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0	(次年度計画·目 66 66 14,8 15,4 77 50 37 1,15 2 9 25	9 34 43 2 44 34 77 5.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度	0	冬 年度 - タルコスト・目標 0
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (3) (7)	事業費・指標の記事規制である。 ・指標庫支売の記事規制では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般計では、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	出金 (では、1) (Table 1) (Tab	一	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況 違で開始されたの	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 等)の変化、市長昭和22年外国人登	(予算・目標) 83 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 記意見等	(次年度計画・E 66 66 3,7 14,8 15,4 7 50 37 1,15 2 9 25 1	標) 9 34 43 2 44 34 77 5.0 0.0 7.0 0.0 0.0 5.0 5.0 5.0 5.0	25年度 (計画·目標) 0	26年度(計画・目標)	0 0	冬 年度 - タルコスト・目標 - 0 - 0
(2) 年間トータルコスト (3) こだ. 調 (3) こだ. 調 (3) こだ. 調 (3) こだ. 調 (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	事業 財源内訳 事規 (A) + (B)	出 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況違で開始されたの	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 等)の変化、市長昭和22年外国人登	(予算・目標) 83 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,100.0 1,1157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 記意見等	(次年度計画・E 6 6 6 3,7 14,8 15,4 7 50 37 1,15	標) 9 34 43 2 44 34 77 5.0 0.0 7.0 0.0 0.0 0.0 5.0 5.0 5.0	25年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26年度 (計画・目標)	(トー 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	冬 年度 - クルコスト・目標 0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (3) (3) (3) (7) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	事業費・指標の記事規制 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」 「大田」	出 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況 違で開始されたの 詩または5年前と比	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 18.0 18.0 1930 289:割以上は終正される。外国人住民は近される。外国人住民は近	(予算・目標) 83 83 8560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,100.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 20.0 き意見等	(次年度計画・目 66 66 3,7 14,8 15,4 7 50 37 1,15 2 9 25 1 1	77 34 43 2 44 34 77 5.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	25年度 (計画・目標) 0 0 0 0	26年度 (計画・目標)	日本 一	終 年度 - タルコスト・目標 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	事業費・指標のの支出を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	出は債他が(A) 関の アイウアイウアイ 巻ど 況ま者	千千千千千千千千八時千千件件件人 一件件件件には 始今に	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況 違で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 18.0 1990の変化、市長昭和22年外国人登録される。外国人登録は、本	(予算・目標) 83 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,100.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 20.0 登録令により開始さ	(次年度計画・目 (次年度計画・目 6 6 6 7 14,8 15,4 7 50 37 1,15 2 9 25 1 1	77 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0	25年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 世野製工作事工	26年度 (計画・目標)	日本 一	終 年度 - タルコスト・目標 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0
(2) 年間トータルコスト (3) これ 第一 (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	事業 財源内訳 事規 (A) + (B)	出は債他が(A) 関い アイウアイ ウアイ 巻と 別: 者望	一千千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況 違で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 18.0 18.0 1930 289:割以上は終正される。外国人住民は近される。外国人住民は近	(予算・目標) 83 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,100.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 20.0 登録令により開始さ	(次年度計画・目 (次年度計画・目 6 6 6 7 14,8 15,4 7 50 37 1,15 2 9 25 1 1	77 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0 (1.0	25年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 世野製工作事工	26年度 (計画・目標)	日本 一	終 年度 - タルコスト・目標 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (4) さ	事業 財源内訳 事規 (A) + (B)	出は債他が(A) 関い アイウアイウアイ 巻と 別:	一千千千千千八時千千件件人 件件件件 況経 始今にせ かんぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん い	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況違で開始されたの 詩または5年前と比後の予測は?	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 第)の変化、市民昭和22年外国人登録は、本に居住実態がなく	(予算・目標) 83 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 20.0 20.0 登録令により開始さ 戦前が基本となても税金や国民健	(次年度計画・目 (次年度計画・目 6 6 6 7 14,8 15,4 7 50 37 1,15 2 9 25 1 1 れた。 訓解人だった。H か国人登録法)で管 っており、職権 康保険料が課れ	標) 9 34 43 2 44 34 777 5.0 0.0 7.0 0.0 7.0 0.0 5.0 5.0	25年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 世では基法施行以後 地登録を消除す 問題になることが	26年度 (計画・目標) (計画・目標) は日本人と同様住民 ることが出来な	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	終 年度 クルコスト・目標 の の の の で が の の の の の の の の の の の の の
(2) 年間トータルコスト (3) (3) (4) さ	事業 財源内訳 事規 (A) + (B)	出は債他が(A) 関い アイウアイウアイ 巻と 別:	一千千千千千八時千千件件人 件件件件 況経 始今にせ かんぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん い	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況違で開始されたの 詩または5年前と比後の予測は?	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 第)の変化、市民昭和22年外国人登録は、本に居住実態がなく	(予算・目標) 83 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 20.0 20.0 登録令により開始さ 戦前が基本となても税金や国民健	(次年度計画・目 (次年度計画・目 6 6 6 7 14,8 15,4 7 50 37 1,15 2 9 25 1 1 れた。 訓解人だった。H か国人登録法)で管 っており、職権 康保険料が課れ	標) 9 34 43 2 44 34 777 5.0 0.0 7.0 0.0 7.0 0.0 5.0 5.0	25年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 世では基法施行以後 地登録を消除す 問題になることが	26年度 (計画・目標) (計画・目標) は日本人と同様住民 ることが出来な	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	終 年度 クルコスト・目標 の の の の で が の の の の の の の の の の の の の
(2) 年間トータルコスト (3) ここだって (4) (4)	事業 財源内訳	出 1 債他 源 (人間 B) アイウアイ ウアイ グアイ 巻 ど に ま 者望 状 旅	千千千千千千八時千千件件人 一件件件件には 一次の 一	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況違で開始されたの 詩または5年前と比後の予測は? 事業対象者、議会られているか?	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 第)の変化、市民昭和22年外国人登録は、本に居住実態がなくで取り組みし積極的な閉鎖(出版表現)	(予算・目標) 83 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 20.0 20.0 登録令により開始さ 戦前が基本となても税金や国民健	(次年度計画・目 (次年度計画・目 6 6 6 7 14,8 15,4 7 50 37 1,15 2 9 25 1 1 れた。 訓解人だった。H か国人登録法)で管 っており、職権 康保険料が課れ	標) 9 34 43 2 44 34 777 5.0 0.0 7.0 0.0 7.0 0.0 5.0 5.0	25年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 世では基法施行以後 地登録を消除す 問題になることが	26年度 (計画・目標) (計画・目標) は日本人と同様住民 ることが出来な	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	終 年度 クルコスト・目標 の の の の で が の の の の の の の の の の の の の
(2) 年間トータルコスト (3) (4) (4) (4)	事業費・指標の記事規則に 「国際地での説」 「国際地での説」 「国際地での説」 「国際地での説」 「国際地での説」 「工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	出 (一千千千千千千八時千千件件人 一件件件件 にならい おままで はいま はいま かいま はいま かいま かいま はい	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況違で開始されたの 詩または5年前と比後の予測は? 事業対象者、議会られているか?	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 第)の変化、市民昭和22年外国人登録は、本に居住実態がなく	(予算・目標) 83 83 560 643 2 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 20.0 20.0 登録令により開始さ 戦前が基本となても税金や国民健	(次年度計画・目 (次年度計画・目 6 6 6 7 14,8 15,4 7 50 37 1,15 2 9 25 1 1 れた。 訓解人だった。H か国人登録法)で管 っており、職権 康保険料が課れ	標) 9 34 43 2 44 34 777 5.0 0.0 7.0 0.0 7.0 0.0 5.0 5.0	25年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 世では基法施行以後 地登録を消除す 問題になることが	26年度 (計画・目標) (計画・目標) は日本人と同様住民 ることが出来な	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	終 年度 クルコスト・目標 の の の の で が の の の の の の の の の の の の の
(2) 年間トータルコスト (3) (4) (4) (4)	事業 財源内訳	出 (一千千千千千千八時千千件件人 一件件件件 にならい おままで はいま はいま かいま はいま かいま かいま はい	(決算・実績) 113 182 295 2,288 10,207 10,502 222.0 1,554.0 1,228.0 1,277.0 57.0 375.0 977.0 9.0 12.0 対象者・社会状況違で開始されたの 詩または5年前と比後の予測は? 事業対象者、議会られているか?	(決算・実績) 41. 444 485 2,288 10,207 10,692 217.0 1,409.0 1,050.0 1,155.0 66.0 308.0 789.0 26.0 18.0 第)の変化、市民昭和22年外国人登録は、本に居住実態がなくで取り組みし積極的な閉鎖(出版表現)	(予算・目標) 83 83 560 643 2, 3,120 12,361 13,004 220.0 1,500.0 1,100.0 1,157.0 70.0 350.0 900.0 20.0 20.0 20.0 記意見等 戦前が基本となても税金や国民健 ノている 「内国確認) 照会や、各	(次年度計画・目 6 6 6 14,8 15,4 7 50 37 1,15 2 9 25 1 1 1 れた。	標 9	25年度 (計画・目標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26年度 (計画・目標) ※法が廃止となり、住 は日本人と同様住民 ることが出来な がある。 【理由】 ト国人登録原夢	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	終 年度 クルコスト・目標 の の の の で が の の の の の の の の の の の の の

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価) 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びついているか?意図が上位目的に結びついているか? 自が上位目的に結びついているか? 公共関与の妥当性 妥 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか? 民間やNPOに委ねることは可能か? 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していたととは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか? 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか?で 「中上のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	の方向性に反映 サービスの基礎情 の方向性に反映 い適切に処理してる	報として利用できるため。報として利用できるため。									
□ おびついている 【理由 】 本事業により、外国籍住民の正確な身分事項、居住関係が把握でき、各種行政施策に結びつき、貢献しているか? ②共関与の妥当性 □ 見直し余地がある 【理由 】 3評価(Check2)・4今後の ② 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	サービスの基礎情 D方向性に反映 サービスの基礎情 D方向性に反映 い適切に処理してる D方向性に反映	報として利用できるため。報として利用できるため。									
施策に結びつき、貢献しているか?意図が上位目的に結びついているか? 公共関与の妥当性 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか? 民間やNPOに委ねることは可能か? 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していてとは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか? 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えること 施策に結びつき、貢献しているか?意図 見直し余地がある 【理由 】 3評価(Check 2)・4今後の一本事業の対象者及び事務事業は外国人登録法及び同施行令、施行規則に沿し考える。 「回上余地がある 【理由 】 3評価(Check 2)・4今後の一本事業の対象者及び事務事業は外国人登録法及び同施行令、施行規則に沿しまえる。 「向上余地がある 【理由 】 3評価(Check 2)・4今後の一本事業のかり方・進め方を変えること	の方向性に反映 サービスの基礎情 の方向性に反映 い適切に処理してる	報として利用できるため。									
受当である 【理由】 本事業により、外国籍住民の正確な身分事項、居住関係が把握でき、各種行政性力なければならないのか? 民間やNPOに委ねることは可能か?	サービスの基礎情 D方向性に反映 い適切に処理してる D方向性に反映	おり、見直しは必要ないと									
価 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか?	い適切に処理してる D方向性に反映										
事務事業のやり方・進め方を変えること ▼ 向上余地がない 【理由 】		更は出来ないと考える。									
で成果を向上させることはできなか?で 本事業の事務内谷は外国人豆球法及の向施刊マ、施刊規則、事務収扱委領できない場合は何が原因でできないの か?											
有効 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか?類似事務事業がある場合、その評 事務事業との統合や連携を図ることはできるか? 類似事務事業がない	(C h e c k 2) · 4 今	後の方向性に反映									
休止・廃止した時の影響及び休 止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響 はあるか?また成果から考えて、休止・ 廃止することはできるか?	ない 【理由 人登録法で決めら できない。	れた国からの委託事業の									
事業費の削減余地 削減余地がある 【理由・具体案 】 3評価(Check 2 削減余地がない 【理由 】											
正 八件費の削減余地 削減余地がある 【理由・具体案 】 3評価(Check 2 成果を下げず人件費を削減できない か?(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委 時間の削減や臨時職員対応や外部委 にとる削減はできるか?) 削減余地がある 【理由 】 3評価(Check 2 利減余地がない 【理由 】 外国人登録法は平成24年7月に廃止され、外国人の居住関係の把握は改正住 す。それに伴い、外国籍住民の居住実態の把握やシステム改修事務が新たに加は難しいと考える。	民基本台帳法によ	い管理されることになりま									
公 受益機会・受益者負担の適正化余地	, . 委託費について	は事務内容に比べて小									
3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括											
(1) 1次評価者としての評価結果 (2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づ 目的妥当性 ☑ 適切 □ 見直し余地あり 平成24年7月15日までに外国人登録法が廃止となり、住民 外国人住民は現在、外国人登録原票(外国人登録法)で管	₹基本台帳法も同	日付で改正されます。									
有効性 「図」 「見直し余地あり」 以後は日本人と同様住民基本台帳に統一されます。 対率性 「図」 「見直し余地あり」 となります。新住民基本台帳法に移行されると、いままで出											
公平性 ☑ 適切 □ 見直し余地あり 除が出来るようになり、実態にあった台帳整備ができるよう		3 (W) [207]									
4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN) (1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 (3) 改革・改善による方向性											
原止(目的妥当性 、 、 の結果)事業統合・連携(有効性 の結果)□ 休止(目的妥当性 、 、 の結果)□ 成果向上(有効性 の結果)□ 成果向上(有効性 の結果)□ 成果向上(有効性 の結果)□ 成果向上(有効性 の結果)	N. T.	コスト水準									
□ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) □ コスト削減(効率性 、 の結果) 削減 維持 増											
(2)改革改善案について	成果水排 原比体										
	展出 (K (5)事務事業優然 成果優先度評価	先度評価結果 									
·	コスト削減優先月										